

はねっと 10

仙台市民活動サポートセンター通信 ぱれっと

“ぱれっと”には、仙台市民活動サポートセンター(サポセン)にいろいろな人が集まり、それぞれの色(個性)が発揮され、新しい出会いや活動が生まれていく。そんな願いがこめられています。



仙台をワクワクさせる人物をご紹介します

好きなことのため、 行動することを止めない

BARBER STYLE CLUB
(バーバースタイルクラブ) NeRo(ネロ)さん

NeRoさんは、仙台市若林区新寺で「BARBER STYLE CLUB」という理髪店を経営する理容師です。店では、ストリート文化の中でも、ヒップホップと総称される、音楽やアート、ファッションなどを発信しています。2021年5月からは、お店を飛び出し様々な場所で、ストリート文化を楽しんでもらう企画をスタート。47都道府県での開催を目指し「ツナガロウ47」と名付けました。企画の中でNeRoさんは、お客さんのファッションに合わせて公開でヘアセットを施します。共にイベントを主催するストリートのアパレル店を経営する仲間は、イベント用に準備したオリジナル商品を販売。「自分たちが格好いいと思う髪形や服、音楽を通じて、自分たちの好きな文化を盛り上げる仲間を増やしていきたい」と話します。

きっかけは、数年前にヒップホップイベントで、理容師の技術をパフォーマンスしたことでした。「この方法なら、ストリート文化を牽引する異業種の人たちとイベントができるし、お客さんにも色々な情報に触れてもらうことができる」と仲間を増やしアイデアを温めてきました。「イベントを企画・運営することは大変だけど、自分から行動しないと何も生まれません。誰かに会うこともできない」と、これまで培ってきた経験を振り返ります。

「いつか、47都道府県のイベントに参加してくれた人を集めて大きなパーティーをするのが夢です。繋がった人たちが、それぞれにイベントを開催してくれたりしたら最高ですね」。NeRoさんの挑戦は、いま始まったばかりです。



ツナガロウ 47

全国47都道府県で、ストリート文化を発信するために、NeRoさん、仙台市内でアパレル店を経営する459(シコク)さんが運営するイベントです。イベントには、地域の飲食店や理髪店などが場所を提供し協力しています。この企画には、ストリート文化を盛り上げたいと、DJや他店の理容師が助っ人として参加することも。年間に5回程度の開催を続け、10年をかけて日本全国で開催することを目指します。

連絡先: BARBER STYLE CLUB(バーバースタイルクラブ)
住所: 〒984-0051 宮城県仙台市若林区新寺4-2-30パークサイドビル1F



▲ 飲食店の一角でパフォーマンスする様子

BARBER STYLE CLUB ▶
Face Book





市民活動突撃レポート！

自分の「心の声」を安心して取り戻せる場所にしたい

おがわ まみ

女性のためのとまり木&リカバリー・トレーニングセンター「しおり」 施設長 小川 真美さん

「夫婦・親子・友人との関係がうまくいかない」「居場所がない」「寂しい」など、生きづらさを感じている女性のための場所があります。女性のためのとまり木&リカバリー・トレーニングセンター「しおり」(以下、しおり)です。しおりでは、来所する時間、過ごし方は自由。何かを強要されることなく、ただ安心して休める居場所です。また、生きづらさの原因に自ら気づき、どうしたいか考え、実現するための支えとなる知識やスキルを学べる場でもあります。

生きづらさには、DV、いじめ、親からの過干渉など、様々な問題が絡んでいます。抜け出せなくさせているのが、自信が持てない、人や物に依存してしまう、ネガティブに捉えるといった「生きづらい思考」。根底にあるのは、あるがままの自分を認めてもらう経験がなかったり、信頼できる人間関係を築く機会がなかったりなど、人によって様々です。中でも、しおりが多くの問題に関係していると考えるのが、女性をとりまく社会心理的な影響。施設長の小川さんは「あらゆる場面で、女性は考えを主張することより、気遣いや優しさを求められる。望まれる行動を繰り返すうちに、相手の顔色に振り回されたり、認められることだけが生きがいになったり、自分軸で物事を考えられなくなる女性が多い」と言います。しおりでのおしゃべりや、相談、自身の思

考を見つめ直す専門プログラムは、誰のためでもなく、自分のために話せる場です。同じような悩みを持つ仲間や、スタッフと話すことを通じて、少しずつ生きづらさと向き合います。「自分で人生を選ぶことは、誰かに従うより勇気がいるし、大変なこと。しおりのスタッフや仲間はいつもここで待っている」と、女性たちにエールを送ります。



▲(左)スタッフ伊藤さん、(右)施設長 小川さん

女性のためのとまり木&リカバリー・トレーニングセンター「しおり」

TEL/FAX 022-211-1825
Mail shiori@yb4.so-net.ne.jp
Twitter @sendai_shiori



HP ▲



読者から社会の気になる、あんなこと、こんなことを紹介します「気になる○○」

私にもできた！ヘアドネーション

身近に髪を寄付した人がいて、「私もしたい!」と思い立ちました。対応してくれる美容室をネットで見つけ、お店が提携している団体に寄付することができました。夏は暑く、冬は乾きにくく、伸ばすのは大変でしたが、待ち望む人、喜んでくれる人がいる、それが原動力に。パーマやカラーを施していても寄付は可能です。興味がある方は、ぜひ、ご協力を。(遊佐慶子さん 仙台市在住)

ヘアドネーションとは、病気や怪我などの理由で頭髪に悩みを持つ18歳以下の子どもたちに医療用のウィッグ(かつら)を無償で提供する活動に、髪を寄付することをいいます。

結び目の少し上を切って寄付します。1つのウィッグをつくるのに、約20人分の髪の毛を必要とするそうです。▶



つながる つなげる サポセン

仙台市市民活動サポートセンターとは

様々な分野の市民活動、ボランティア活動の支援施設です。「自分たちのまちをもっと良くしたい」。そんな市民の自発的な活動を応援します。お気軽にご相談ください。

今月の休館日 10月13日(水)、27日(水)

開館時間 月曜日～土曜日 9:00-22:00

日曜日・祝日 9:00-18:00

休館日 毎月第2・第4水曜日(祝日の場合は翌日木曜日) 年末年始

〒980-0811 仙台市青葉区一番町四丁目1-3

TEL 022-212-3010 FAX 022-268-4042

[ホームページ] <https://sapo-sen.jp>

[サポセンブログ@仙台] <https://blog.canpan.info/fukkou/>

「ばれっと」バックナンバーは
ホームページからダウンロードできます。



「ばれっと」は、市民ライターと協働で制作しています。
ほぼ毎日更新している「サポセンブログ@仙台」で、取材の様子やこぼれ話を配信しています。

編集・発行

仙台市市民活動サポートセンター
(指定管理者: 特定非営利活動法人
せんだいみやぎNPOセンター)

発行日 2021年10月1日

デザイン PEACE Inc.

[Twitter]

@SCSC4CA

[YouTube]

サポセンちゃんねる

